



1 函館朝市

戦後に函館周辺の農家が野菜や果物を立ち売りしたことから始まった。今では約280件の店舗が軒を連ねており、海産物をはじめ野菜・果物・お菓子・珍味など函館の味覚が集まっている。

子、珍味など幽艶の味
覚が集まっている。

昭和15年7月28日付
函館新聞より



2 棒二森屋

明治2年創業の洋品店「金森森屋」と明治22年創業の呉服店「棒二萩野商店」が昭和11年に合併して、翌年棒二森屋百貨店を開店した。建物は、箱館の発展に尽力したで真宗本願寺派の僧・堀川兼経の孫である早大教授明石信道氏の設計によるもので、その後度々改築し現在に至っている。



小路



松風町電停北側の小路の角に菊水と称する寿司屋があったので、昭和時代からこの小路が「菊水小路」と呼ばれている。昭和15年の函館新聞に掲載された商店街地図「漫画商店街案内」には「寿しの菊水」が記載されている。



10 大門広小路

昭和27年6月13日付けの函館新聞に「大門広小路に決まる」という見出しつとまでも「自由市場通り商興会で改称の町名を一般から募集していたが、12日午前11時大門・三河屋で函新、道新、商興会立会の上、応募数2704枚中厳選の結果次の当選者が決まった。」という記事が掲載された。大正時代には萬歳館通りともいわれた。



12 大門横丁

高砂通りと大門仲通りを2つの小路で連結する大門横丁は、個性溢れる26の飲食店が集まる屋台村。平成17年10月オープンから、函館の新鮮な食材を生かした料理とあったかい会話が魅力で、地元に愛され続けています。

はこだて小路めぐり 大門・朝市編 ~大門界隈今昔物語~

所要時間 60分 距離 1.3km 消費カロリー 180kcal ※消費カロリーはおよその目安です。



漫画商店案内に掲載されているエリア

